

第一学年 社会科（地理的分野）学習指導案

日時：10月10日（金）第3時限

場所：

指導学級：（生徒数 38人）

指導者：

指導教員：

1. 単元名 地理的分野 第2章第3節 アフリカ州

2. 指導について

教材観

この単元は主に、アフリカ州の自然環境・歴史・経済・社会のつながりを通して、現在の課題と今後の発展を考えることを目的としている。内容は「地形と農業」「モノカルチャー経済」「植民地の影響と国際協力」「アフリカの今後の発展を考える」の4つで構成する。学習指導要領地理的分野「世界の様々な地域（アフリカ州）」の目標である、地域的特色の理解と地球的課題である貧困とその解決について考察させる。そのために、単元を通したテーマとして、「なぜ発展が遅れているのかを考え、アフリカを発展させるためには何をすれば良いのか考えよう。」というものを立てる。

アフリカ州は、赤道を中心に多様な気候帯が広がり、地形や気候が農業や人々の生活に大きな影響を与えている。かつての植民地支配の影響により、単一作物や鉱産資源に依存するモノカルチャー経済が形成され、今日でも貧困や紛争など多くの課題を抱えている。これらの課題は自然環境だけでなく、歴史的背景や国際的な経済構造とも深く関係しているため、複数の視点からの理解が必要である。

学習では、各授業終わりにアフリカの課題を整理し、単元を通した問いを意識させる。そして、アフリカの課題を「アフリカを発展させるには何をすればよいのだろうか」という問いから考えさせる。この単元を通して、多面的に考える力を養い、身につけた知識を主体的に活用する態度を育てることを目指している。

生徒観

このクラスは積極的に発言できる生徒が5人程度おり、苦手なことでも主体的に取り組もうとする生徒が多いため、復習をしっかりと行いながら授業を進める必要がある。また、グループワークの際に、意見が一人に頼ってしまうことにも注意しなければならない。机間指導の際に、資料やノートから理由付けができるようなアドバイスをすることで、より多くの生徒が考察できるようにしたい。これまで学習したことを使って多面的・多角的に考察できる授業を目指す。

指導観

本単元の指導では、知識を一方向的に教えるのではなく、生徒自身が資料などをもとに考え、問いを立てながら理解を深めていく探究的な学習を重視する。アフリカという遠い地域を扱うにあたって、まずは

地図や写真などの具体的資料を用い、自然環境や生活の様子から興味・関心を喚起することが大切である。そのうえで、気候や地形と農業の関係、輸出構成や歴史的背景を結びつけ、地域の特徴と課題を関連づけて理解させる。

また、アフリカの課題を単に貧しいと捉えるのではなく、その背景に目を向けさせる。さらに、学習過程ではグループでの話し合いや意見共有を積極的に取り入れ、異なる視点から考えることの大切さを実感させる。教師は答えを提示するのではなく、生徒が資料の中から根拠を見つけ、自分の考えを形成していく過程を支援する立場をとる。

最終的には、アフリカの抱える課題やそれに対する国際的な取り組みを理解するだけでなく、「これからアフリカが発展していくためには」を主体的に考える態度を育てたいと考える。

3. 単元の目標

【知識及び技能】

- ・アフリカ大陸の地形・気候・資源などの地理的な特徴を理解する。
- ・アフリカ州の文化や社会的な課題について理解する。

【思考力、判断力、表現力等】

- ・アフリカ州の自然環境や歴史的背景に着目し、資料を基にアフリカ州が抱える課題を考察し、適切に表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】

- ・アフリカ州の人々の暮らしや課題の変化に関心を持ち、自分たちの生活と比較しながら多面的に考え、意欲的に探究することができる。

4. 単元の評価基準

知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自然環境、経済、歴史的背景などから現在のアフリカの現状と課題を理解している。	アフリカの現状から課題を考察し、自らの解決策を表現している。	主体的にアフリカの課題について向き合い、自分の意見を持つことができる。

5. 指導計画

	学習活動	評価
アフリカの自然と農業	1、アフリカの地形と国名の穴埋めをする。 2、気候について知り、気候に合わせた農業について知る。	アフリカ大陸の地形・気候・資源などの地理的な特徴を理解する。 知識及び技能

アフリカの経済	1、チョコレートの生産国と消費国が違うことをグラフから読み取り、理由を考える。 2、アフリカの輸出品の特徴を考える。 3、モノカルチャー経済の問題点について考える。	アフリカ州の経済の課題について理解を深める。 知識及び技能 資料を基にアフリカ州が抱える課題を考察し、適切に表現することができる。 思考・判断・表現
アフリカの歴史と国際協力	1、アフリカの国境がなぜ直線的なのか考える。 2、なぜ紛争が多くを起きているのか考える。 3、植民地時代の影響を地図から読み解く。 4、国際協力について知る。	アフリカ州の歴史的背景に着目し、資料を基にアフリカ州が抱える課題を考察し、適切に表現することができる。 思考・判断・表現
アフリカの発展（本時）	1、アフリカの優先して解決すべき課題を決めて、理由を書く。 2、班になり優先すべき課題を絞る。 3、班でその課題の解決策を考える。 4、それぞれの班ごとに発表する。	主体的にアフリカの課題について向き合い、自分の意見を持つことができる。 主体的に学習に取り組む態度

6、本時案

(1) 目標

【知識及び技能】

現在のアフリカ州が持つ課題について、理解している。

【思考力・判断力・表現力】

これまで学習したことからアフリカの発展のために優先的に解決すべき問題について思考し、その解決策について自ら表現することができる。

【学びに向かう力・人間性】

アフリカ州の様々な課題について、どれが最も深刻で解決すべき課題かを根拠を基に説明でき、自分なりの考えを述べようとする。

(2) 本時の展開

	学習活動	教員の動き、留意点(*)、評価(□)
導入 10分	解決すべき五つの課題についての説明を聞く。	・教員がバワボを用いて、解決すべき五つの課題について説明する。 * 前回のプリントを参照しながら進める。
展開1 5分	個人で優先すべき課題を決め理由を書く。	・参考資料を配る。 * 資料やプリントから理由付けをすることを強調する。
展開2 10分	班になり優先すべき課題を絞る。	□主体的に学習に取り組む態度 (A 評価) ・理由を資料やノートを根拠として、これまで学習したことを活かし、理由付けすることができる (B 評価) ・理由付けをし、自らの考えを書くことができる。
展開3 10分	班でその課題の解決策を考える。	・理由付けをし、自らの考えを書くことができる。 * 机間指導を行う。
展開4 10分	それぞれの班ごとに発表する。 他の班の意見をメモする。	・他者の意見と自分の意見を比べ、議論できているかを確認する。
まとめ 5分	それぞれの意見の総括をする。 振り返りを書く。	アフリカの課題についてほかの班の意見を踏まえて考察し、自らの意見を書くことができる。

アフリカの社会の変化と国際協力

(教 P. 86~) 地理プリント NO.27

()月()日()限目 1年()組()番 ()

めあて

1,アフリカを発展させるために一番解決すべき課題はなんだろう。

- ① 食料問題
- ② モノカルチャー経済
- ③ 紛争
- ④ 教育水準の低さ
- ⑤ 外国との関係

一番優先すべきなのは ()

理由

2,班で話し合い、一番優先すべきものを決めよう

一番優先すべきなのは ()

理由

3,解決するためにはどうすれば良いだろう

4,他の班の意見を聞いてみよう

① 食料問題

② モノカルチャー経済

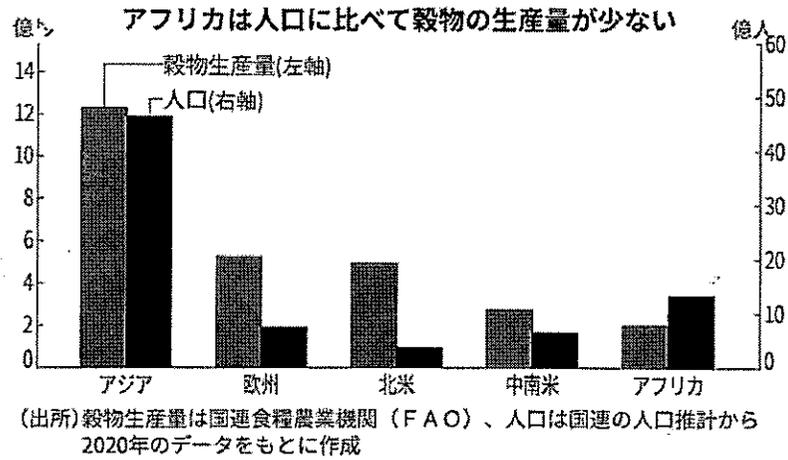
③ 紛争

④ 教育水準の低さ

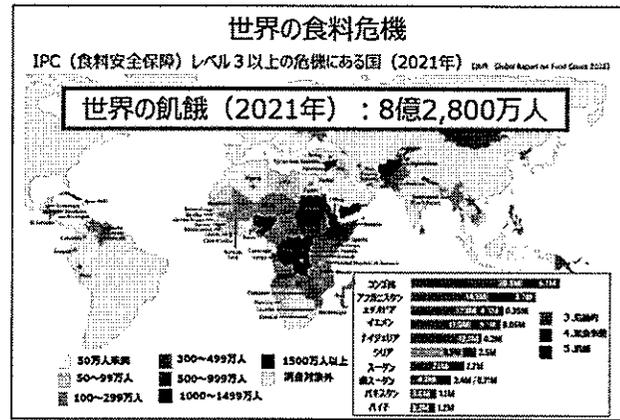
⑤ 外国との関係

ふりかえり

① 食糧問題



② モノカルチャー経済



③ 紛争

紛争の原因は?

- 領土問題 歴史的な背景など 民族の分断
- 資源をめぐる対立 奪い合い レアメタルや原油など武力勢力の資金源に利権争い
- さまざまな要因が重なり 対話では解決できず 武力衝突に発展
- 異なる宗教の対立 歴史や考え方の価値観の違い。人種差別や民族紛争に発展
- 民族同士の対立 民族差別
- 政治への不満 独裁政治や汚職の蔓延 経済的困窮

紛争鉱物

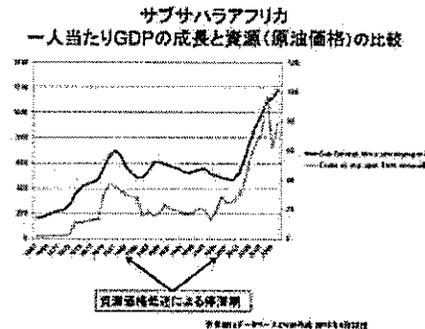
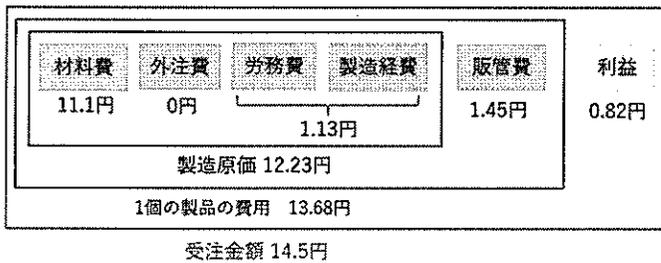
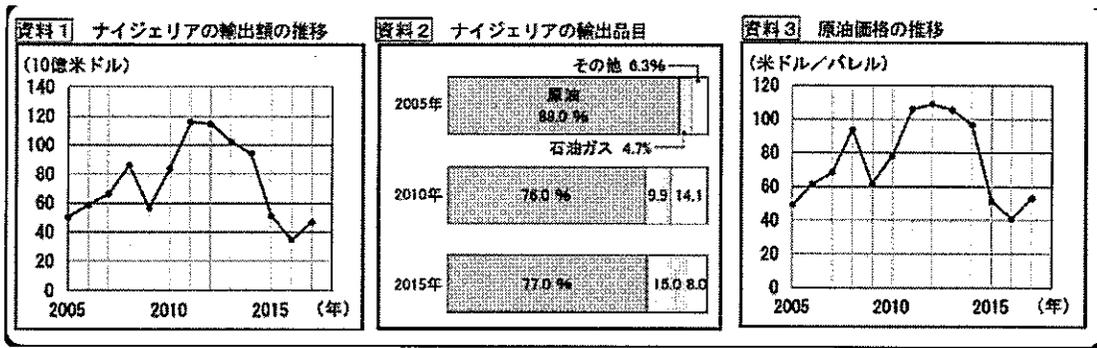
16 平和と正義をすすめるために

unicef for every child

④ 教育水準の低さ

教育と経済成長率の関係

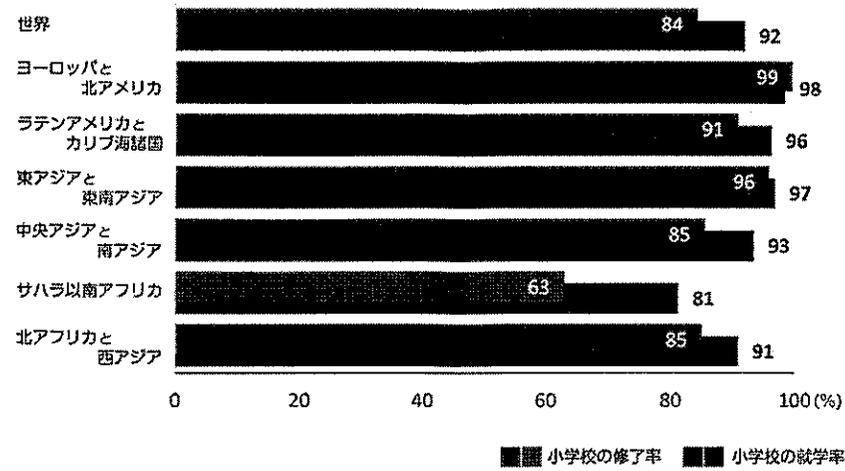
国名	高校進学率	識字率	GDP
日本	98.7%	100%	4兆3700億ドル
ガーナ	37%	79%	828.3億ドル
ケニア	34%	81%	1245億ドル
エジプト	69.4%	71.2%	3891億ドル
ウガンダ	24%	76.5%	536.5億ドル
アルジェリア	54.4%	81.4%	2636億ドル



一個の製品の費用と材料費の関係

赤の線: 経済の成長率
緑の線: 原油の価格

小学校の就学率と修了率



⑤ 外国との関係

具体的な支援の例

教育・医療分野
安全な水と衛生環境の整備、学校給食支援、母子保健支援 感染症対策
経済・開発分野
インフラ整備、農業支援、マイクロファイナンス、人材育成
緊急支援分野
災害・飢饉支援、食糧安全保障
平和構築・その他
難民支援、平和の構築・情報通信

